



ひまわり



病院季刊誌 秋号

2026年10月発行(N0.100)
発行/春日井リハビリテーション病院
TEL 0568-88-0011



季刊誌第100号記念に寄せて：地域に寄り添い、未来を紡ぐ

初めに熊本地震をはじめ各地の大災害により被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。皆さまの安全と、一日も早い復興を深くお祈りいたします。

さて秋を迎え、この度、当法人の季刊誌が記念すべき100号を迎えることができました。当院は先代の吉川 洋先生が「吉川医院」として昭和40年に開設し昭和42年に吉川病院へ改称いたしました。その後、建て替えを重ねて平成13年に「春日井リハビリテーション病院」へと名称を変更し、開設から61年が経ちます。今日まで歩みを続けることができたのは、ひとえに日頃より当院を信頼し、支えてくださる患者さまやご家族の皆さま、そして地域の関係機関の皆さまの温かいご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

本誌の創刊から今日にいたるまで、医療情勢は大きく様変わりいたしました。現在、少子高齢化の急速な進展や医療従事者の働き方改革、物価高騰による病院経営への影響など、医療界はまさに激動の時代を迎えています。このような厳しい環境下にあっても、私たちは常に「地域にとって必要な医療は何か」と自問自答し続けてまいりました。

当院は近隣の基幹病院、救急病院のご協力、支援のもと、疾患の初期に対応する急性期病床(39床)、在宅復帰に向けた集中的なリハビリを行う回復期病床(60床)、長期間にわたり療養を支える療養病床(180床)を併せ持っています。このシームレスな病床機能こそが当院最大の強みです。患者さまが突然の病に倒れた瞬間から回復への過程、その後の穏やかな療養生活に至るまで一貫して寄り添うことができる地域完結型医療であると自負しております。

また関連施設である社会福祉法人 陽和会は、高森台の地に「どんぐりの森」と「どんぐりの家」を開設しており病院での治療が落ち着いた患者さまたちの安心できる退院先の一つとなっています。

これからの未来に向けて私たちはさらに進化を続けてまいります。医療の質や安全性の向上はもちろん、地域の医療・介護施設との連携を一層強化し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる「地域包括ケアシステム」の核となることを目指します。

そしてこの大切な使命を支えているのが、日々現場で尽力してくれる職員の存在です。全職員が誇りを持ち生き生きと働ける環境づくりを推進していくことが、患者さまへの質の高い医療とケア、そして「笑顔」に繋がると確信しています。職員の皆さま、いつも本当にありがとうございます。

100号という節目は通過点にすぎません。私たちはこれからも地域の皆さまの健康と安心を守る砦として次の100歩を共に歩んでまいります。今後共変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

理事長 福井 雅子

病院の理念・基本方針

1. 豊かな人生への支援

- ①QOL(Quality of Life: 生活の質)を重視したチーム医療の実践
- ②患者さまを主体とした思いやりのある医療・サービスの提供

2. 地域社会への貢献

- ①健康増進と予防医学の啓蒙
- ②地域医療機関・福祉施設との緊密な連携

患者さまの権利

- 1. 患者さまは公平で良質、かつ安全な医療を受ける権利があります。
- 2. ご自身の病状や治療について知る権利と十分な説明を受ける権利があります。
- 3. ご自身の治療について、担当医師から提示された治療方法を選択または拒否する権利があります。
- 4. 病院に対して、意見、要望を述べる権利があります。
- 5. 患者さまのプライバシーは常に保護・尊重されます。

我々の目標

- A. 疾患の治療にとどまらず、患者さまの生活・社会背景を熟慮して、最適な医療・サービスをご提案します。
- B. 安全で安心できる快適な療養環境の整備を行い、満足していただけるケアが提供できるように努めます。
- C. 日々進歩する医学に対し、正確な医学知識の習得を常に心がけます。
- D. 診療技術および看護・介護技術向上のための研鑽を怠りません。
- E. 診療内容・医療情報をわかりやすく説明し、互いの信頼関係を築くことを心がけます。
- F. 患者さまのプライバシーに配慮し、個人情報の秘密を守ります。
- G. 地域医療機関・福祉施設と協力し、医療から福祉へ連続したサービスを提供できるように努めます。
- H. 働く人の生き甲斐となるような病院、職場づくりを目指します。



「光る海」
加藤 恵子 作



私たちは、春日井の魅力発信を
応援するパートナーです。

入職の御挨拶

2026年7月1日より春日井リハビリテーション病院にお世話になっています。私は昭和59年に名古屋大学医学部を卒業し、その後40年ほど脳神経外科医として臨床に従事してきました。脳卒中・脳腫瘍・頭部外傷など脳神経外科疾患一般の手術・治療に加えて、最近は頭痛・認知機能障害・てんかん・パーキンソン病などの診断・治療にも力を入れています。

片頭痛は日常生活に支障をきたす疾患です。最近非常に有効な片頭痛治療薬が上市され治療の選択肢が広がっています。頭痛・片頭痛でお困りな方、更には物忘れが増え認知機能が心配な方、歩行・運動障害がみられる方などお気軽にご相談ください。

脳神経外科 医師 赤羽 明

2026年8月1日より内科医師として赴任した長尾俊宗です。元々は、総合大雄会病院消化器科部長として、消化器系全般の疾患を診てきました。その後アメリカに渡りキリスト教神学を研鑽してきました。帰国後、一般内科医師として地域医療の充実に取り組んでいく傍ら、学んだことを生かし、全人的観点から患者さまの診療に取り組みました。患者さまの症状には様々なものがありますが、その症状を既存の疾患に当てはめようとする医療との間に深刻なギャップがあるように感じています。食欲不振、医師の間で不定愁訴と呼ばれる様々な症状がそのギャップの中で、掬い取ってもらえずに、患者さまを苦しめています。その溝を少しでも埋めることができるように、皆さまとともに考えていきたいと思っています。どうかよろしくお願いします。

消化器内科 医師 長尾 俊宗

医療を守るための制度改定について

医療は、私たちの暮らしを支える大切な社会制度です。病院や診療所が安心して医療を提供し続けるためには、適切な体制や人材、設備が必要です。こうした医療の質と安全を守るために、国は数年ごとに「診療報酬」という仕組みを見直しています。診療報酬とは、検査や治療、薬の処方などに対して国が定めている“医療の料金表”のようなものです。この見直しを「診療報酬改定」と呼びます。



今回の改定では、より安全で質の高い医療を提供するための取り組みや、医療スタッフが働きやすい環境づくり、地域で必要な医療を継続するための仕組みなどが重点的に見直されました。これにより、医療機関が行う診療の一部で算定方法が変わったり、体制整備が求められたりする項目があります。

当院でも、改定内容に合わせて業務の見直しや体制の整備を進めています。患者さまの安全を守るための取り組みを強化し、より丁寧で質の高い医療を提供できるよう努めています。今回の改定により、一部の診療項目や費用が変わる場合がありますが、患者さまの負担ができるだけ大きくならないよう配慮しながら運用してまいります。制度の変更は分かりにくいことも多いと思います。気になる点やご不安なことがありましたら、どうぞお気軽にスタッフへお声がけください。

診療報酬改定は、医療機関だけでなく、地域の皆さまがこれからも安心して医療を受けられるようにするための仕組みです。当院は、今回の改定を機に、より良い医療の提供と地域に寄り添う病院づくりを進めてまいります。これからも皆さまの健康を支える存在として、信頼される医療を提供できるよう努めてまいります。

医事課 課長補佐 丹羽 亜希子



加齢性難聴とは？

年齢とともに聴力が低下することを、加齢性難聴と言います。多くの方が「聞こえが悪くなった」と感じるのは65歳前後ですが、実際には聴覚の老化は30～40代に始まっていて、ゆっくりと進行していきます。最初に低下するのは高音域の聞こえで、電子体温計や電子レンジの音などの高い音から聞こえが悪くなっていきます。

騒音が多い環境で長く働いていた方や趣味で長年大音量の音楽に触れていた方などは、加齢性難聴が早くから進行することが多いと言われています。



難聴の人と話すコツ

難聴の方とお話しをする際、大きな声で話せば聞こえると思われる方も多いかもしれませんが、音の大きさよりもことばの明瞭さが重要になります。必要以上に大きな声を出すのではなく、普段より少し大きめの声で話す程度に留めましょう。また、高い声よりも低い声の方が聞き取りやすいとされているため、低めのトーンでゆっくりと話します。口をはっきりと動かし、母音を意識して発音することで読唇もしやすくなります。



リハビリテーション科 言語聴覚士 倉田 紗希

陽和福祉会より 夏を楽しむ『どんぐりの森』

どんぐりの森では、今年もご入居者さま・ご利用者さまに季節を感じて、楽しく過ごしていただけるように各ユニットで様々な夏らしいイベントを企画しました。

各ユニットでは、スイカ割りや夏まつり等、季節を楽しむイベントを企画し、普段とは少し違う雰囲気の中で、職員と一緒に笑ったり声を掛け合ったりしながら、和やかな時間を過ごしていただきました。

スイカ割りでは、『右!もう少し前!』など、ご入居者さま・ご利用者さまから自然と声援が飛び交い、職員と一緒に楽しむ姿がみられました。『昔は、家族でスイカ割りをした。』『夏まつりが楽しかった。』など、昔の夏の思い出を語られるご入居者さま・ご利用者さまもみられました。

どんぐりの森では、これからも一人ひとりの『やってみたい』『楽しみたい』という気持ちを大切にしながら、日々の暮らしの中に季節を感じられる時間を職員と共に過ごしていきたいと思ひます。

ご入居者さま・ご利用者さまの笑顔が私たち職員にとって大きな励みとなっております。これからも『ここで過ごせてよかった』と思っただけの施設を目指していきます。



どんぐりの森 施設長 高木 貴史

7/13 床ずれ対策の基本と用具活用

7/27 粉碎薬・混濁法

～以下の研修はe-ラーニングによる研修です～

7月 認知症ケア

8月 排泄ケア

8月 OLS研修

9月 第2回感染研修

9月 第2回身体拘束最小化研修

褥瘡対策委員会

医療安全対策委員会

教育研修委員会

看護部

教育研修委員会

感染対策委員会

身体拘束最小化委員会

7/6・8/25・11/30

患者安全のための問題解決手法を学び改善活動へ繋げよう

7/29 第182回リフレッシュ!プライマリーケア塾

肥満症治療のUp to Date

～ゼップバウンドへの期待と適性使用について～

8/8～8/11

NST研修

8/30 BPSDに向き合う ～その人らしさを尊重する、実践的ケアと治療～

9/16 第184回リフレッシュ!プライマリーケア塾

高齢者不眠症治療の最適化を目指して

愛知県看護協会

田辺ファーマ株式会社

日本イーライリリー株式会社

日本健康・栄養システム学会

大塚製薬株式会社

塩野義製薬株式会社

職員募集

常勤・非常勤

●看護師・准看護師 ●介護福祉士 ●介護士（未経験・無資格者応募可）
●理学療法士・作業療法士 ●社会福祉士

◎勤務日数等、相談可 ◎新入職員への支援研修を行っていますので、新卒の方、ブランクのある方も歓迎します。

◎託児所（定員有、平日日中のみ）もあります。◎なお、ハローワークや当院まで直接ご連絡の上、採用となった方には基本給が優遇される場合があります。■休日／変形休日制（4週8休）■委細面談／履歴書提出（写真貼付）※郵送可

担当／看護部 向・総務課 大川内

附属クリニック診療表

午前：9時～12時 午後：3時～5時

	月	火	水	木	金	土
内科	○	○	○	○	○	○
循環器内科		○	○		○	○
呼吸器内科						○
消化器内科	○	予約		○		
整形外科	○	○	○	○	○	○
リハビリテーション科	○	○	○	○	○	○
乳腺外科		予約			予約	
ペインクリニック内科	○				○	
皮膚科		○				
心療内科		完全予約				
脳神経外科	○					
健診科	予約	予約	予約	予約	予約	予約
内科	予約	予約	予約	予約	予約	
脳神経外科				予約		

＊月曜日～木曜日午後の内科診療を予約制にて再開いたしました。

色色の診療は予約制となります。

＊乳腺外科の火曜予約は、第一火曜日のみとなります。

＊呼吸器内科は第二・第四土曜日のみとなります。

＊第五土曜日は休診です。

＊美容点滴・美容注射をおこなっておりますので、ご希望の方は附属クリニックにご相談ください。

案内図



周辺拡大図

春日井リハビリテーション病院
春日井リハビリテーション病院
附属クリニック

JR高蔵寺駅より

【名鉄バス】

●「東医療センター」行→「神楽」停留所下車 徒歩10分

●「内々神社」行→「坂下出張所」停留所下車 徒歩1分

【かすがいシティバス】

●東環状線→「坂下出張所」停留所下車 徒歩1分

（はあとふるライナー）

医療法人 陽和会

ホームページ: <http://www.kreh.or.jp>

〒480-0304 春日井市神屋町706

■春日井リハビリテーション病院

Tel:0568-88-0011 (代)

Fax:0568-88-1548

◎一般病棟39床、回復期リハビリテーション病棟60床、療養病棟180床

■春日井リハビリテーション病院 附属クリニック

Tel:0568-88-0033

Fax:0568-88-0061

【在宅支援室】

◎訪問診療・居宅介護支援事業所

Tel:0568-88-1232

Fax:0568-88-0633

◎短時間型通所リハビリテーション（デイケア：1-2時間）

Tel:0568-88-0248

Fax:0568-88-0633

【診療健診部】

◎健診科

Tel:0568-88-8275

Fax:0568-88-0633

■地域包括支援センター高蔵寺

Tel:0568-37-0780

Fax:0568-37-0782

〒487-0025 春日井市出川町2-8-10

Kasugai Rehabilitation Hospital